

MMB-100

【6】点検・整備

本機の点検・整備を怠ると事故の原因になる事があります。本機を正常な状態に保つ事が安全につながります。点検して不具合が見つかった場合は、直ちに販売店、または整備工場へ修理を依頼し、必ず修理が完了してから本機を使用して下さい。

1) エンジン

1. エンジンオイル

初回20時間で交換、以後50時間毎で交換すること。油量：0.6リットル

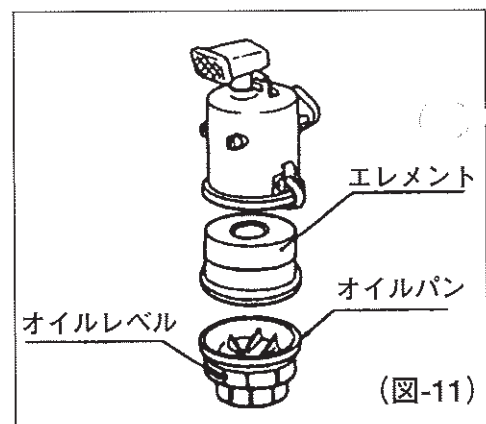
交換方法：オールドレンプラグ⑳を外して全量抜き取る。オールドレンプラグ⑳を確実に締め込み、オイルゲージ㉔を外し指定量のエンジンオイルを入れる。

オイルゲージ㉔を元のように締め込む。

2. エアークリーナー

本機に搭載のエアークリーナーは、オイルバス式を採用しております。オイルパンのオイルが汚れていたり、少ない場合には交換、給油をして下さい。オイルはエンジンオイルを目盛り線まで入れて下さい。(図-11)

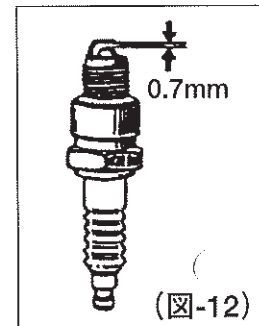
(注)オイルは、規定量以上に入れすぎないこと。エレメントは、時々白灯油で洗い、洗浄後はエンジンオイルをエレメントに塗布し、滴を振り切って取り付けて下さい。



3. 点火プラグ

電極やガイシ部分が汚れたりカーボンが付着する為、清掃をして下さい。

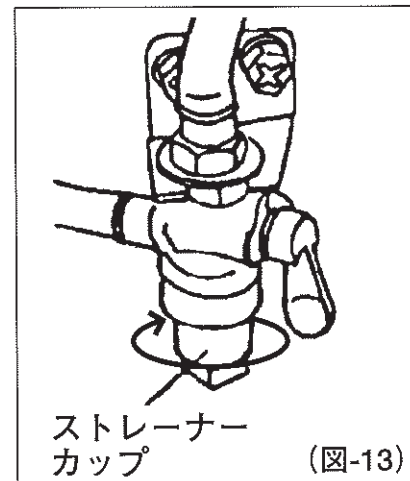
清掃後、電極が摩耗して間隔が大きくなっているときは、電極間隔を、0.6~0.7に調整して下さい。(図-12)



4. 燃料コック

燃料コックに付いているストレーナーカップの内部を毎回清掃して下さい。

矢印の方向に回すとネジが緩み外れます。(図-13)



5. その他

リコイルスターター付近のゴミは、取り除いて下さい。ボルト、ナット類の緩みが無い点検して下さい。

2) ミッション

1. ミッションオイル初回は、50時間で交換、以後200時間又は、2年間毎に交換して下さい。

方法：機体を安定した所に置き、ミッションカバー左⑩を機体から外し、ミッションの下側の廃油栓を外し、ミッション内のオイルを全量抜いて下さい。廃油栓を締め、ミッションの上側の“OIL”と書かれた注油栓取り外し、注油栓より静かにオイルを注いで下さい。オイルを入れ終わりましたら、注油栓を元の様に取り付けて下さい。

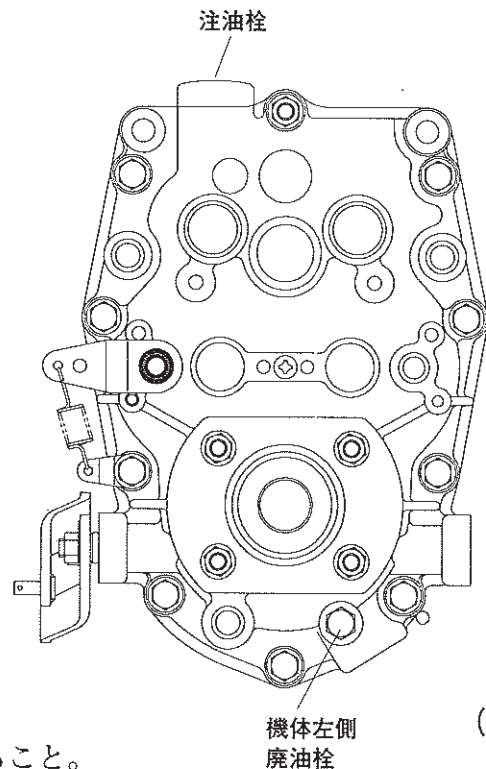
(図-14)

オイル：ギヤーオイル#90

油 量：1.0リットル

2. その他

- ・ボルト、ナット類の緩みが無い点検すること。
- ・オイル漏れが無い点検すること。



(図-14)

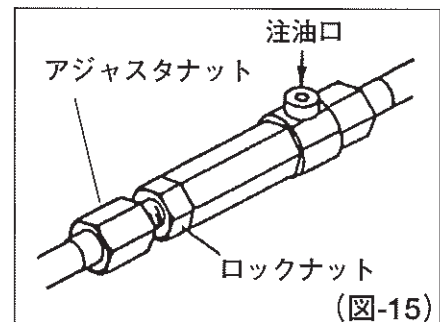
3) 機体

1. 注油

ワイヤー、その他の作動部に注油すること。

ワイヤー：ハンドル⑫の両側中程にワイヤー調整用のアジャスターが有ります。注油栓を上側に向けてから注油口に油をさして下さい。(図-15)

キャスター：グリスニップルよりグリスを注入して下さい。



(図-15)

(注) ホッパー⑮底部の可動部分には、絶対に注油はしないで下さい。作動不良の原因になります。